

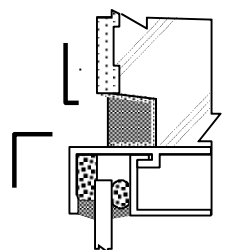
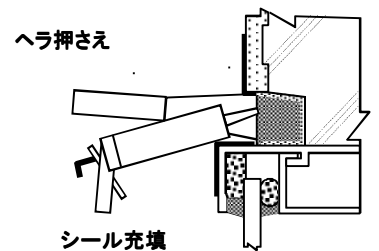
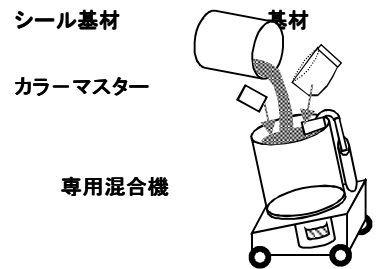
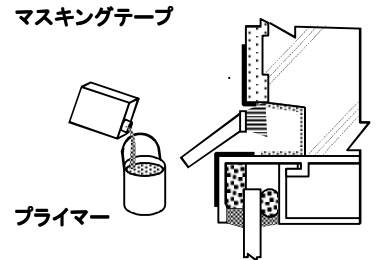
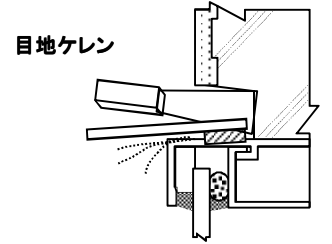
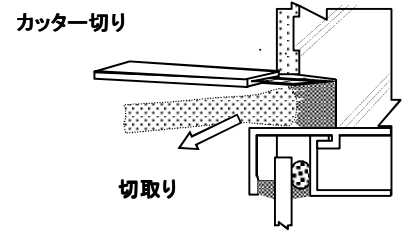
23-1 建具廻り目の地補修（シール打替補修工法）

外壁建具廻り(窓枠、ドア枠)取合い目地の補修

施工手順

施工方法

| | |
|-------------|--|
| 補修範囲の確認 | <ul style="list-style-type: none"> 目視により劣化範囲を確認し、補修範囲を確定する。 シール材の選定は、使用場所及び目地の材質に適合した材料を選定する。 |
| 既設シール撤去 | <ul style="list-style-type: none"> 既設シールと躯体の接着面をカッターで切り引き剥がし撤去する。 |
| ケレン清掃 | <ul style="list-style-type: none"> 切り取り部分の残留シール材をスクレパーで除去。 ダスター刷毛清掃後、溶剤拭きして油分を除去する。 |
| マスキングの貼付け | <ul style="list-style-type: none"> テープ貼り位置は、シール材の被着面へ食込まない様に貼る。 目地底が湿潤状態の場合は、十分に乾燥してから施工する。 |
| プライマー塗布 | <ul style="list-style-type: none"> プライマーは、刷毛で均一に塗布し、塗り残しが無い様にする。 プライマー塗布後、当日施工出来ない場合や、雨濡れした場合は、再塗布する。 プライマー材：ボンドシールプライマー#9 |
| シーリング材の混合 | <ul style="list-style-type: none"> 専用混合機により、基材・硬化剤・カラーマスターが均一になるまで15分以上混合する。 混合不良を防止する為、容器の壁、底部の材料をヘラで掻き落とした後に再度、混練する。 シール材：ボンドMSシール、 |
| シーリング材の充填 | <ul style="list-style-type: none"> 混合したシーリング材をコーキングガンに詰めた後、目地底から気泡が入らない様に充填する。 混合したシーリング材は、可使時間内に使用する。 |
| ヘラ仕上げ | <ul style="list-style-type: none"> シーリング材表面が指触乾燥前に、目地幅に合ったヘラで表面を平滑に仕上げる。 |
| 目地廻りの清掃 | <ul style="list-style-type: none"> マスキングテープよりはみ出した箇所は、周囲を汚染しない様に除去する。 |
| マスキングテープの除去 | <ul style="list-style-type: none"> マスキングテープを除去する。 |
| 養生 | |



完了